



きっずる一むだより

第 45 号
令和 6 年 7 月 10 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずる一む県庁別館



暑い日が続くようになり、子どもたちが大好きな水遊びの季節になりましたね。水遊びをすることは子どもの五感の発達に繋がります。身体全身で水に触れることで様々な感覚が磨かれ、保育者や友達と一緒に水遊びをする楽しさも味わうことができます。きっずる一むでは県庁内にある「楓の庭」で水遊びを行います。水分補給をこまめにし、体調管理に十分配慮した上で水遊びを行っていきたいと思います。

水遊びについてのお願い

持ち物：通常の荷物の他にサンダル

着替え 1 組

タオル(大)1 枚

オムツ 1 枚を名前の書いたビニール袋に入れ、ご持参ください。

手指を使った遊び



A 君(0 歳 7 か月)は保育者が転がす車のスロープトイをじっと見えています。

何度も転がってくる車を見て、自分でもやってみようと車を持ち、スロープトイに手を伸ばします。

しかし、なかなか入らず、だんだん表情が曇っていく A 君。

最後は悔しくて泣き出してしまいました。そこで、保育者が大きいボールのスロープトイを持っていき、ボールを渡すと自分で上手にボールを転がすことができ笑顔になりました。

A 君から見る発達

赤ちゃんはおおよそ生後 6 か月頃から指先を使い始めると言われています。手指には多くの神経が集まっており、手指を使った遊びをすることで、脳の発達も進んでいきます。

A 君は手指を使うだけでなく、自分でやってみたいという意味、自分でできなくて悔しいという気持ちも出てきています。

自分の思うように体が動かないもどかしさをこの時期に感じることは貴重な経験になります。

きっずる一むではこのような子どもの気持ちに寄り添い、温かく見守っていきたいと思います。